



令和元年10月号
うみのこセンター
TEL(054)335-1148
FAX(054)335-1292

	1(火)	2(水)交流保育	3(木)	4(金)
	きりん 9:45 (生活)	ラッコ 10:40 (外遊び)	パンダ 10:00 (外遊び)	あひる 10:00 (外遊び)
	K 14:00	F 14:00	B 13:30 (親子遊び)	G・C 13:30 (親子遊び)
7(月)	8(火)	9(水)交流保育	10(木)	11(金)
りす 9:45 (生活)	きりん・しか 9:45 (親子遊び)	ラッコ・パンダ・あひる 10:40 (歯科保健講演会)	療育相談 9:30 自閉症協会懇談会 10:00	療育相談 9:30 A 9:45 (親子遊び)
特別指導	E 14:00 (口腔トレーニング)	G 14:00 (口腔トレーニング)	面接相談日	C 13:30 (口腔トレーニング)
14(月)	15(火)	16(水)交流保育	17(木)	18(金)
体育の日	しか 9:45 (口腔トレーニング)	ラッコ 10:40 (親子遊び) ランチ *外遊び予備日	パンダ 10:00 (親子遊び) ランチ *外遊び予備日	あひる 10:00 (親子遊び) ランチ *外遊び予備日
	K 14:00	F 14:00	B 13:30 (口腔トレーニング)	A 13:30 (口腔トレーニング)
21(月)	22(火)	23(水)交流保育	24(木)	25(金)
うさぎ 9:45 (口腔トレーニング)	即位の礼	個別指導日	りす 9:45 (口腔トレーニング)	A 9:45 (生活)
D 14:00		G 14:00 (生活)	面接相談日	C 13:30 (生活)
28(月)	29(火)	30(水)交流保育	31(木)	
りす・うさぎ 9:45 (親子遊び)	きりん 9:45 (口腔トレーニング)	面接相談日	年長児母親教室 10:00	
D 14:00	E 14:00 (親子遊び)	個別指導日	B 13:30 (生活)	

年長児母親教室について 31日(木) 10:00~ 3階ペンギンルーム

年長児母親教室全体でのお話はこれで最後になります。

年長になって行ってきた学校見学、支援学級体験、母親教室でのお話等を振り返り、まとめをしていきたいと思っております。また、就学後の放課後支援についても相談支援事業所 わだつみの担当者からお話したいと思っておりますので、ぜひご参加下さい。

<10月のグループ活動のねらい>



□腔トレーニング

お子さんの発音が気になるというお話をよく聞きます。口や舌が十分発達していないと、はっきりした発音につながりません。専門的な訓練はなかなか難しいですが、日常生活の中で食べることや遊びを通して楽しく口を動かせる方法をご紹介しますと思います。

生活：洗濯たたむ(年少)

前は洗って干すまでをやりました。今回は、取り込んで、たたんでしまうということにチャレンジしてみたいと思います。おうちでもお手伝いができるといいですね。

生活：お片付け(年中)

「お片づけだよ」と言っても、子どもはなかなかお片づけをしてくれません。「お片づけって、めんどくさいし楽しくないもん」と言われそうです。お片づけが楽しくなる方法、考えてみたいと思います。

外遊び(ラッコ・パンダ・あひる)

日本平運動公園へ出かけ、秋の自然を楽しみたいと思います。詳細については掲示でお知らせします。

☆グループ変更について☆

- ・10月から乳児のあひるグループが始まります。対象となる方には事前に職員からお伝えしますので、よろしくお願いいたします。
- ・Aグループの活動が、午後になる時があります。時間を間違えないようご注意ください。



「男の子、きらい！」

言葉が遅くてなかなか増えないと心配する親御さんは多いと思いますが、増えたら増えたで戸惑うことはありませんか。まだ場に合った言葉を使いこなすことができないと、聞いている方にとっては、え？と思うこともあります。あるお母さんのエピソードです。

Aちゃんはブランコに乗りたかったのですが、男の子たちが使っていたので「代わって」と言いました。でも男の子たちは代わってくれませんでした。Aちゃんは嫌だった思いをお母さんに伝えに来ました。「男の子、きらい」「そうだね、嫌だったね」そう言ってもらったのですが、まだ気持ちは収まりません。「男の子、たたく」「男の子、蹴る」「男の子、かむ」・・・と、自分の知っている言葉をいっぱい使って、何度もお母さんの所に訴えに来ました。お母さんは、たたくのはいけないこと、でもそうしたいほど嫌だったんだ、とAちゃんの気持ちを受け止めていました。それと同時に、嫌だった思いを伝えるのにこんなにかくさんの言葉を知っていたんだ、といつの間にか言葉のバリエーションが増えていたことに気付き、成長を感じていました。

ところが、Aちゃんがとうとう「男の子、包丁で切る」と言った時にはお母さんもビックリ。さすがにその表現は…と戸惑いました。自分だけならいいけれど、他の人が聞いたら何と思うだろう…。でも、よく考えてみたら、普段家で「包丁は危ないから触ってはいけない」と言い聞かせていました。Aちゃんにとっては、包丁を触ってはいけないことは良く分かっているうえで、それでもそれを使いたいほど嫌だった、それをお母さんに伝えたかった、ということに気付いたお母さんは、「そんなことを言うてはいけない」ではなく、「この子にとっての最高級にいけない言葉を使つての精一杯の表現だったんだ」と受け止めてくれたのでした。

表面的な言葉にとらわれてしまうとつい否定したくなりますが、その裏にある本当の気持ちを考えると、こういうことだったんだ、と気付かされることがありますね。



*うみのごセンターのおたよりが、ホームページから閲覧できるようになりました。

予定の確認などにぜひご活用ください。

- 〈閲覧手順〉 ①静岡市しみず社会福祉事業団 トップページ <http://www.shimizu-294.jp>
イベント報告→うみのごセンター
②トップページ 「新着情報」